MV-22 オスプレイ
「同盟力」

沖縄へのMV-22オスプレイ配備は、以下の米国の能力を著しく強化：

- **日本の防衛**
- **人道支援や災害救助任務の実施**
- **その他同盟国としての任務遂行**

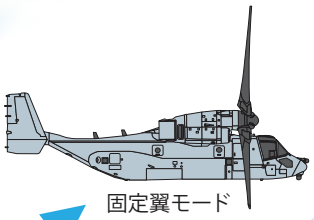
安全性はMV-22の運用上優先事項
・優れた安全記録を保持
・過酷な状況下で訓練、人道支援、戦闘を行う中、米海兵隊の標準値を上回る安全記録を保持

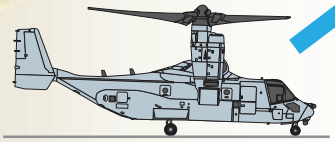
証明された実績
・ハイチでの人道支援・災害救助活動を成功裏に実施
・リビアで墜落した航空機のパイロット救出作戦に参加
・イラクとアフガニスタンでの戦闘作戦を支援
・海兵遠征部隊（MEU）の配備展開を実施

同盟国にとってのメリット
・第三海兵遠征軍の日本防衛能力を著しく強化
・アジア太平洋地域における人道支援・災害救助任務の遂行能力を向上
・平和と安全に貢献する任務をより効率的・効果的に遂行

沖縄にとってのメリット
・CH-46Eヘリコプターと比べ全体的に音が静か
・より高く、より早く飛行するため人口密集地域での飛行を減少
・オスプレイの分遣隊はアジア太平洋地域各国での演習に毎月配備され、沖縄での配置および訓練の時間を削減

画期的な性能 - スピード、搭載量、航続距離において大きく飛躍
・ヘリコプターの機能と固定翼機のスピードや航続距離を合わせ持つ
・CH-46Eヘリコプターと比べ２倍の速度、約３倍の搭載量、４倍の航続距離を備える
・高高度飛行及び飛行中の給油が可能





より高く ー より早く ー より静かに

MV-22 オスプレイの機能

スピード	519 km/h
航続距離	1,389 km
最高高度	7,529 m
搭載量	9,072 kg
収容人数	24人

安全性ー機能強化ー同盟国や沖縄にとって有益